



株式会社 酒井商会

活動期間【令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日】

エコアクション認証登録番号【0005109】

作成日【令和6年6月10日】

《社長メッセージ》

当社は明治 43 年（1910 年）、酒井自転車店として創業し、自転車の販売・修理を須坂市馬場町で始めました。軽量・丈夫を売りとして当時人気のあった「丸石の自転車」を多数販売し、業界で大評判になりました。

昭和初期、取扱商品の拡大に伴い移転し、本店を横町に、支店を太子町におき、オートバイの販売・修理を中心とする営業を開始しました。



昭和 38 年、モータリゼーション（自動車の大衆化）に伴い、自動車の販売・修理を開始。

昭和 52 年、高梨町に本社を移転し、須坂市初の自動車ショールームを完成させ、積極的に拡販活動を開始しました。

平成 8 年、創業 85 周年を期に、有限会社から株式会社に改組。新社屋と円形ショールームを完



成。マツダオートザムとしてのマツダのディーラーとなりました。

平成 28 年 4 月 14 日、創業 106 周年に、第二創業の出航をする。

このように酒井商会は皆様に支えられて、今年で創業 113 年を迎えることが出来ました。扱う商品は自転車、バイク、自動車と時代とともに変わってきましたが、お客様の暮らしをより豊かにという思いはいつの時代も決して変わりません。それとともに地域のお客様に支えられていることへの感謝を忘れず、地域貢献活動にも積極的に参加してまいりました。表紙のサカレンジャーは地域貢献活動をするために誕生した酒井商会オリジナルキャラクターです。

また、酒井商会は 2010 年にエコアクション 21 の認証を取得し、2019 年に長野県 SDGs 推進企業の登録を頂きました。持続可能で豊かな地球環境を持続するために目標設定し、しっかり意識して環境経営を進めていけるようにしました。また会社内だけでなく、お客様、地域の皆様にも発信するよう努めてまいります。



代表取締役 社長 酒井志郎

目次

1. SDGs 達成に向けた経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

2. 会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

3. 環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

4. 環境経営実施体系と役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

5. 主な環境活動と SDGs の関わり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

6. 環境経営目標と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

 (1)二酸化炭素排出量の削減【低炭素社会への対応】・・・・・・・・・・・・・5

 グリーン電力証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

 (2)廃棄物の削減及び再資源化の推進【循環型社会への対応】・・・・・・・・・・・・・7

 (3)排水量の削減【水資源の保全】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

 (4)グリーン購入の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

 (5)自動車整備及び販売サービスに関する環境配慮の推進・・・・・・・・・・・・・9

7. 各記録【緊急時 ミーティング 勉強会】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

8. 社会貢献活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

10. 代表者による見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

11. お問い合わせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

1. SDGs 達成に向けた経営方針

弊社の経営理念である『心ときめく』ワクワクするカーライフを創造・提供し地域社会に貢献できる企業を目指します。」は、SDGs の達成と目的を同じくするものであり、社員一人ひとりが経営理念を常に意識し、実践、それぞれの役割を果たしていくことにより、SDGs の達成に貢献していきます。

SDGs 達成に向けた重点的な取組

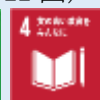
環境面・経済面

『あいさつの寸劇』、『あいさつは大切だセミナー』の講演活動

あいさつの意義、意味を一緒に考え知ることにより、あいさつ溢れる地域づくりを目指し、特に未成年者の自己肯定感を高め、地域から未成年者の自殺をなくす。

☆2030 年に向けた指標…あいさつセミナーの実施 36 回/年(2018 年実施回数 22 回)

長野県の未成年の自殺者数 0 人/年



社会面

『整備、CS アンケート』、『ビフォアサービス』の実施

朝礼、整備、CS アンケートや、アフターフォロー(整備、販売、保険)体制を確立し、個客からのクレーム対応などで、品質を保証する仕組みを構築する。

☆2030 年に向けた指標…各アンケートの回収率 100%(2018 年実施回数 整備 31% CS41% ビフォア 10%)



環境面・経済面

『リサイクルパーツ』の推進

整備、修理入庫のお客様にショールーム内に啓発ポスターを掲示するなどして整備部品、板金部品のリデュース、リユース、リサイクルパーツの推進する。

☆2030 年に向けた指標…リサイクルパーツを使用することによる CO2 削減換算量 5000kg-CO2

(2018 年実績 1337.1kg-CO2)



2. 会社概要

- ◇会社名 株式会社 酒井商会
- ◇住所 〒382-0054 長野県須坂市高梨町 2535
- ◇TEL 026-245-0397 FAX:026-245-2931
- ◇HP <https://www.sakai1910.jp/>
- ◇エコアクション認証登録番号 000519
- ◇対象範囲 本社工場及びショールーム
- ◇代表者、環境管理責任者、各部門長 代表者:代表取締役社長 酒井志郎
環境管理責任者:総務 青木圭吾
各部門長:ショールーム 店長 酒井照明、工場 工場長 山口智
- ◇事業内容 自動車の販売 修理 各種保険の代理業務
マツダ正規ディーラー、三井海上火災保険株式会社代理店
- ◇事業の規模 社員数 18 名、総面積 1,702 m² 生産量(販売台数、整備入庫台数)5,603 台



3. 環境経営方針

1. 次の事項について環境経営目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)
 - ・電力(工場、事務所) ・燃料(灯油・ガソリン・軽油)
 - ② 廃棄物の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)
 - ・混合プラ廃棄の削減 ・リサイクルパーツの使用
 - ③ 排水量の削減(水資源の保全)
 - ・一般水道水
 - ④ グリーン購入の推進
 - ⑤ 自動車整備及び販売サービスに関する環境配慮の推進
 - ・販売:エコカーの販売 ・整備:定期点検実施率の向上 ・保険:ドライブレコーダー特約の販売
 - ⑥ SDGs 目標達成にかかわる社会貢献活動
 - ・地域での環境活動への積極的な参加。
2. 環境関連法規や当社が約束したことを順守します。
3. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

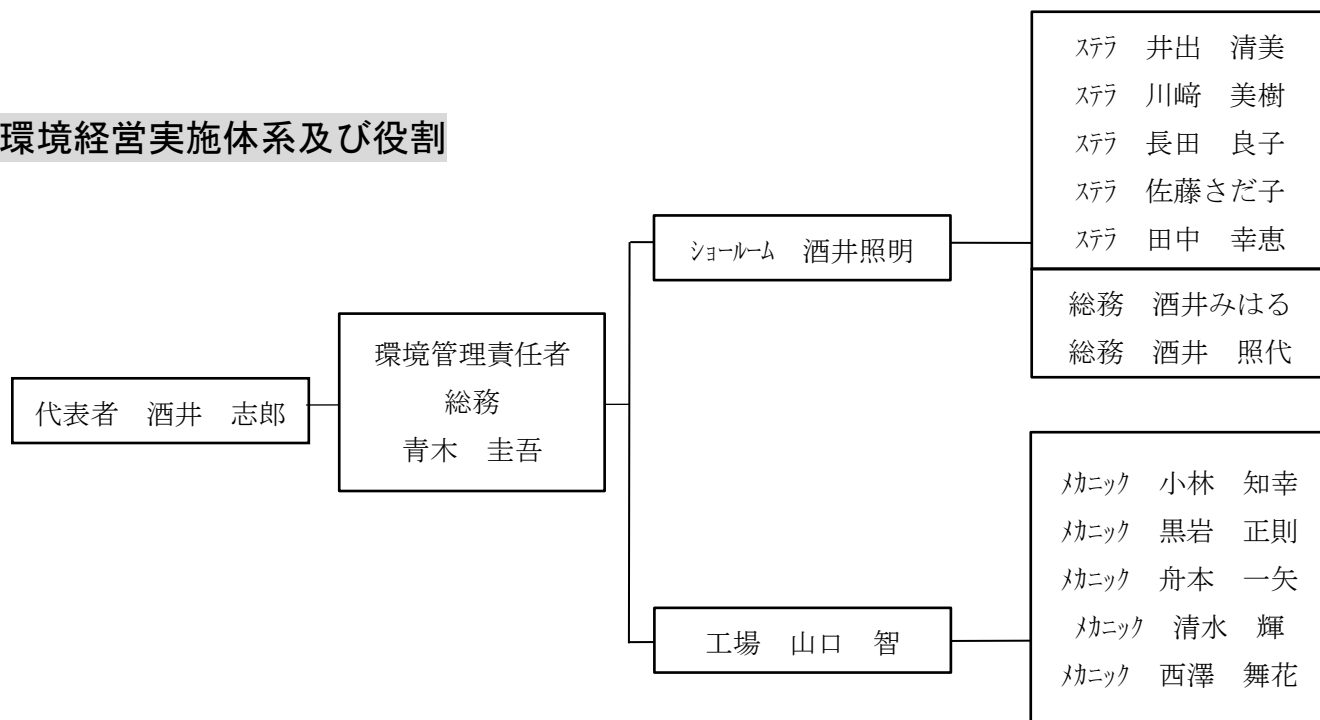
制定日：2009 年 6 月 24 日

改定日：2022 年 6 月 30 日

株式会社 酒井商会

代表取締役 社長 酒井 志郎

4. 環境経営実施体系及び役割



(2023 年 3 月 31 日付)

役割 責任 権限

代表者 酒井 志郎	環境管理責任者 青木 圭吾	部門長 ショールーム 酒井 照明 工場 山口 智 総務 青木 圭吾	全従業員
環境経営に関する統括責任。 環境システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術を準備。 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 環境目標、環境活動計画書と見直しを実施。 環境活動レポートの承認。 環境関連法規等の取りまとめ表を承認。	環境経営システムの構築、実施、管理。 環境活動の取り組み結果を代表者へ報告。 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への連絡） 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 環境目標、環境活動計画書原石の作成。 環境活動の実績集計。 環境関連法規等取りまとめ表の作成。 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。	自部門における環境経営システムの実施。 自部門における環境方針の周知。 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 特定された項目の手順書作成及び運営管理。 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成。テスト、訓練を実施。記録の作成。 自部門の問題点発見、是正、予防処置の実施。	環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

5. 主な環境活動と SDGs の関わり

環境経営目標		環境経営計画	具体的取組内容
二酸化炭素排出量の削減 	電力使用量	エアコン ON OFF こまめに	基本的には ON で
		不要照明の ON OFF	午後 7 時以降ショールーム照明 OFF
		クールビズ運動	クールビズ
		エアコン設定温度 26 度	26 度以上を常に意識
		残業の減少	残業時間の目標設定
	灯油燃料	不要暖房のストップ	従来 2 つ稼働を 1 つにする
		冬季洗車機の電源 ON OFF	使わない時は常に OFF
		効率的洗車の探求	時間設定
		温度設定	お客様不在時の温度設定下げる
		残業の減少	残業時間の目標設定
	ガソリン、軽油燃料	エコ運転	毎朝、安全運転の宣言
		時間に余裕を持った運転	スタッフの増員
		低燃費の代車の活用	試乗車増車
産業廃棄物排出量の削減 	産業廃棄物の削減	廃棄物の分別の徹底	6 S チェック(月 1 回)の日設定
		スプレー缶の使用削減	長在スプレーの整理整頓
		リサイクルパーツの推進	提案力の強化 ロープレ
	リサイクルパーツの使用	リサイクルパーツの提案	提案力強化 ロープレ 板金修理、高額修理時
排水量の削減 		蛇口をこまめに	不使用時 OFF の徹底
		洗車の効率化	洗車マニュアル、洗車試験実施
グリーン購入 		エコ事務用品の購入	エコ事務用品購入時の確認
		エコタイヤ、エコバッテリーの拡販	提案
サービスに関する環境配慮の推進 		エコカーの販売	クリーンディーゼル車の拡販
		定期点検整備実施率の増加	提案
		三井住友ドライブレコーダー特約の拡販	提案
化学物質の削減 		使用量把握	毎月使用量を把握
		SDS による管理	PRTR 対象物資の把握と周知
社会貢献活動 		あいさつスイッチオン研修	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、警察学校、一般企業などでのあいさつの寸劇や講演活動

6. 環境経営目標と実績



(1) 二酸化炭素排出量の削減【低炭素社会への対応】

二酸化炭素排出量の削減として『電力』と『使用燃料(灯油、ガソリン、軽油)』の削減に取り組みました。3ヶ年目標は以下の通りです。

項目	リーダー	2023 年度	2024 年	2025 年
電力量	井出 山口	基準年(2021 年度)の 2%削減	基準年(2021 年度)の 3%削減	基準年(2021 年度)の 4%削減
灯油燃料	井出 山口	基準年(2021 年度)の 2%削減	基準年(2021 年度)の 3%削減	基準年(2021 年度)の 4%削減
ガソリン燃料	増田 山口	基準年(2011 年度)の 12%削減	基準年(2011 年度)の 13%削減	基準年(2011 年度)の 14%削減
軽油燃料	増田 山口	基準年(2011 年度)の 12%削減	基準年(2011 年度)の 13%削減	基準年(2011 年度)の 14%削減

2023 年度の実績は以下の通りです。

項目	目標		2023 年度実績	達成状況
電力量	使用電力(kWh)	72,237	71,583	○
	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	33,157	32,856.6	
灯油燃料	使用灯油(L)	6,669	5,317	○
	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	16,599	13,234	
ガソリン燃料	使用ガソリン(L)	9,693	7,658	○
	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	22,294	17,766.56	
軽油燃料	使用軽油(L)	1,629	2,616	×
	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	4,204	6,749.28	
二酸化炭素 総排出量(kg-CO2)			70611.27	

※二酸化炭素排出係数(電力:0.459kg-CO2/kWh(中部電力 2020 年度)、灯油:2.49kg-CO2/L、ガソリン 2.32kg-CO2/L、軽油 2.58kg-CO2/L を使用)



二酸化炭素排出量で大きなウェイトを占めている使用電力量について、昨年度より使用量は削減できたものの、目標達成が出来なかった。今までの取り組みとしては、ハード面では☆LED 照明設備の設置、☆省エネ水銀灯の設置、☆ショールームエアコンの新設、またソフト面では自動車教習場による☆エコ運転教習、☆省エネポップの掲示、☆仕事量の平準化と残業の減少、☆スタッフの増員、☆6S の強化、☆グリーン電力の購入などを実施してきました。軽油燃料に関して、マツダ車のクリーンディーゼルの販売強化の為、増加してしまいましたが、ガソリンに関しては削減することが出来ました。



本年度は中小企業エネルギーコスト助成金を活用して、ショールーム 2F の休憩室及び事務所に設置してあるエアコン 2 台を最新省エネ型業務エアコンに交換しました。以前のエアコン店舗新築依頼 30 年以上使用したもので効率が悪く、効きが悪い状態でした。新設したエアコンは省エネだけの機能でなく、空気清浄機能(ナノイー付き)で感染症対策にもなりました。

実際に現在のエアコン使用による電力量と電気料金を正確に算出することは困難ですが、パナソニックによるエアコン買替ソフト『KacoZuba』(<https://www2.panasonic.biz/jp/air/pac/kacozuba/>)によると、前述の機器交換による省エネ効果を計算(別紙資料あり)すると、本取組による消費電力削減について大まかですが、以下の効果が期待することが出来ます。

★既存設備の電気量、電気代について

店全体の年間の電気量 79,565kWh/年、電気代 2,763,833 円/年が実績値で、そのうち

既存空調設備① 電気量 10,769kWh/年 電気代 178,800 円/年

既存空調設備② 電気量 3,909kWh/年 電気代 64,800 円/年

よって既存空調設備 2 台の電気量は 14,678kWh/年 電気代 243,600kWh/年として算出されます。

★更新設備の電気量、電気代について

パナソニックによるエアコン買替ソフト『KacoZuba』によると、更新設備の電気量、電気代は以下の見込みとの算出が出されます。

更新空調設備① 電気量 3,153kWh/年 電気代 52,200 円/年

更新空調設備② 電気量 1,041kWh/年 電気代 17,200 円/年

よって更新空調設備 2 台では電気量 4,194kWh/年 電気代 69,400 円/年と見込み算出された。

これら対象の既存設備を更新することによって、更新前のエネルギーコストに比べて 電気量で▲10,484kWh/年、電気代では▲174,200 円/年の削減が期待でき削減率は約 71%見込まれます。

交換したことにより、電気使用量・電気料金の削減や効き具合の改善を実現しただけでなく、音も静かになりスタッフの仕事の効率アップにつながっています。更に事務所の暖房は以前は灯油ファンヒーターを利用していたことが、撤去することができ、エネルギーコストの削減とゼロカーボンに貢献することが出来ました。



【空調設備の更新による削減効果の算出結果】			
更新前(既存)の電気量	更新前(既存)の電気代	更新後(新設)の電気量	更新後(新設)の電気代
14,678kWh/年	243,600円/年	4,194kWh/年	69,400円/年
削減電気量	削減電気代	削減率	削減率
10,484kWh/年	174,200円/年	71.5%	71.5%

(2) 廃棄物の削減及び再資源化の推進【循環型社会への対応】



廃棄物の削減として『金属屑の削減』、金属くずに関しては、2016 年より回収形態の変化に伴い、2017 年度を基準に再設定して取り組みました。再資源化の推進としては『リサイクルパーツの使用』に取り組みました。3 ヶ年目標は以下の通りです。

	リーダー	2023 年度	2024 年度	2025 年度
金属屑の削減	青木 山口	基準年(2020 年度)の 3% 削減	基準年(2020 年度)の 4% 削減	基準年(2021 年度)の 5% 削減
リサイクルパーツ の使用	青木 山口	基準年(2020 年度)の 3% 増加	基準年(2020 年度)の 4% 増加	基準年(2020 年度)の 5% 増加

2023 年度の実績は以下の通りです。

項目	目標		2023 年度実績	達成状況
金属屑の削減	排出量(t)	10.192	1.921	○
リサイクルパーツの 使用	二酸化炭素排出削減 相当量(kg-CO2)	2,314	1103.7	×

金属屑の削減、リサイクルパーツの使用は2項目とも目標を達成となりました。今までの取りみとして、金属屑の削減に関しては、☆分別の徹底や☆リサイクルセンターの縮小化に取り組んだ。リサイクルパーツの使用に関しては、店内にリサイクルパーツ使用を呼びかける☆ポスターの掲示や、リサイクルパーツをお客様に勧めるために、☆ロールプレイング(内部コミュニケーション)を実施してきました。

リサイクルパーツの使用が目標から大きく下回ってしまっている為、特に钣金修理の際は積極的にリサイクル部品の使用を推奨を進めていきたいと思います。



(3) 排水量の削減【水資源の保全】



排水量の削減として『水道水の使用量削減』、『洗車手順の確立』に取り組みました。3 ヶ年目標は以下の通りです。

	リーダー	2023 年度	2024 年度	2025 年
水道水の使用量削減	佐藤 青木	基準年(2016 年度)の 7% 削減	基準年(2016 年度)の 8% 削減	基準年(2016 年度)の 9% 削減
洗車手順の 研究	山口	効率的洗車の確立	効率的洗車の確立	効率的洗車の確立

2023 年度の実績は以下の通りです。

項目	目標		2023 年度実績	達成状況
水道水の 使用量削減	使用量(m³)	1,615	1,639	×
洗車手順の 研究	-	洗車マニュアル改定	-	○

水道水の使用の削減が未達成となってしまいました。今までの取り組みとして、効率的洗車の確立のために☆洗車マニュアルを作成したり、☆洗車の達人試験を実施した。また、汚れが付着しづらくなる☆ボディーコーティング普及の為に、コーティングのプロショップへの



☆ベンチマークへ行った。昨年度は地下資源の有効活用として、配管の老朽化によって使用できなくなっていた地下水をボーリング工事を施工し、☆洗車への有効活用を試みた。しかし、洗車の際の使用水量が地下水の供給量をうわまってしまう水道水を使うこととなった。本年度はコーティング普及に目標値を定めて取り組みました。



(4) グリーン購入の推進



『エコマーク商品の購入』『エコ整備部品の購入、販売』を取り組みました。3ヶ年目標は以下の通りです。

	リーダー	2023 年度	2024 年度	2025 年度
地球にやさしい 事務用品の購入	井出	ペン類、ペーパー類のエコマークの付いた商品の購入	ペン類、ペーパー類のエコマークの付いた商品の購入	ペン類、ペーパー類のエコマークの付いた商品の購入
エコタイヤ、エコバッテリーなどの購入販売	山口	交換件数 基準年(2014 年度)の 9%増加	交換件数 基準年(2014 年度)の 10%増加	交換件数 基準年(2014 年度)の 11%増加

2023 年実績は以下の通りです。

項目	目標	2023 年度実績	達成状況
タイヤ	199 件	222 件	○
エンジンオイル	1304 件	1,807 件	○
オートマチックオイル	57 件	4 件	×
バッテリー	92 件	186 件	○
スパークプラグ	43 件	13 件	×
エアフィルター	66 件	68 件	○

エコ商品の購入に関しては、スタッフの意識づけもできており、これからも継続して行きたい。エコ部品によるエコ整備のご提案に関しては、☆ロールプレイングや☆目標



設定などを試みてきた。次章の自動車整備及び販売サービスに関する環境配慮の推進の整備の項で定期点検実施率の向上が挙げられているが、入庫台数が飛躍的に伸びており、お客様に環境整備をご提案することが出来てい



と思う。来年度はオートマチックオイル、スパークプラグを推進を強化していきたい。

(5) 自動車整備及び販売サービスに関する環境配慮の推進



ここでは当社の事業の柱である【販売】【整備】【保険】の3部門でそれぞれ目標を立てて取り組みました。3ヶ年目標は以下の通りです。

	リーダー	2023 年度	2024 年度	2025 年度
《販売》 エコカー、クリーン ディーゼル車の販売	酒井	エコカー、クリーン ディーゼル車の 販売	エコカー、クリーン ディーゼル車の 販売	エコカー、クリーン ディーゼル車の 販売
《整備》 定期点検実施率の 向上	山口	定期点検 年間 <u>750 台</u> 入庫	定期点検 年間 <u>760 台</u> 入庫	定期点検 年間 <u>770 台</u> 入庫
《保険》 ドライブレコーダー特 約付保率の増加	井出	三井住友ドラレコ 特約付帯率 10%	三井住友ドラレコ 特約付帯率 10%	三井住友ドラレコ 特約付帯率 10%

2023 年実績は以下の通りです。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
◎販売(台数)													
目標	25	20	25	25	25	30	25	25	25	20	25	30	300
結果	18	21	26	30	23	27	31	27	19	16	26	34	298
達成状況													×
◎整備【点検台数】													
目標	60	60	60	60	60	70	60	60	60	60	60	80	750
結果	95	71	87	87	64	123	78	87	103	63	87	110	1,055
達成状況													○
◎保険【ドライブレコーダー特約付保件数】													
目標	1	1	3	12	8	9	6	5	5	3	2	9	64
結果	0	0	5	3	10	9	6	1	5	5	4	7	56
達成状況													○

販売台数の部門が未達成となったが、整備部門、保険部門は達成することが出来た。今までの取り組みとしては、☆年間の目標設定とそれに伴った☆月毎の目標の設定などを実施。

点検入庫台数は営業の担当個客の徹底したフォローがあり、飛躍的に伸びた。これにより前章のエコ整備のご提案がしっかりできている。また、お客様への接触する回数が増え、よいコミュニケーションが取れていると思う。

保険部門ではドライブレコーダー特約を付保を推進しているが、昨今のあおり運転などの時事ネタもあり、普及率は目標を上回り、さらに伸び続けている。三井住友のドライブレコーダーは、毎回運転時の急ハンドル、急アクセル、急ブレーキなどの運転診断が自動で計測、表示して、お客様のエコ運転にも繋がるのでこちらもしっかりとお客様とコミュニケーションをとりながら来年度も励めていきたい。



7. 各記録【ミーティング(是正処置) 勉強会】

☆昨年から継続してミーティングを行っています(月初、10日、20日、30日は朝8時よりミーティング)。また本年度は外部講師をお招きして講義を行う回数を増やしました。



顧問労務士さんから労務時間についての講習



☆消防署の方から心肺蘇生法と AED 講習

☆清掃活動



会社敷地内及び会社周辺の環境整備を実施

☆コロナ禍で実施を見送っていた SAKAI 大家族誕生日会を4年ぶりに復活することが出来ました。毎月22日にその月の誕生日の方をお祝いする会です。スタッフやお客様、日頃支えて頂いている業者の方々(各ディーラーの担当の方、部品商や保険会社、ローン会社、銀行などなど)を及びして感謝のお酌をさせて頂いてます。



8. 社会貢献活動



あいさつの意義、意味を一緒に考え知ることにより、あいさつ溢れる地域づくりを目指し、特に未成年者の自己肯定感を高め、地域から未成年者の自殺をなくす為に、『なぜあいさつは必要なのか』、『なぜあいさつは大切なのか』を一緒に考える『あいさつスイッチオン研修』を実施させて頂きました。こちらは SDGs 達成に向けた重点的な取組の一つです。



須坂警察署様より交通安全活動推進モデル事業所の指定を頂き、交通安全の啓蒙活動として反射板付きエコバックを配布させて頂いたり、須坂インター周辺で人波作戦に参加しました。



☆交通安全活動推進



モデル事業所指定書(須坂警察署様より) ☆交通安全啓蒙活動(綿半須坂店様で反射板付きエコバック配布)



☆須坂インター周辺での交通安全人波作戦参加

☆マリア子供園様にてあいさつの寸劇を実施しました。



☆世界初?? 法定12ヶ月点検を実施のお客様毎月先着5名様に待ち時間に手作りパフェでくつろぎの空間をご提供。



9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

適用となる主な環境関連法規

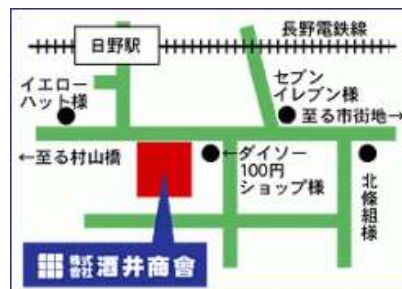
水質汚濁防止法、浄化槽法、騒音規制法、振動規制法、廃棄物処理法、消防法、自動車リサイクル法 家電リサイクル法 フロン排出抑制法

当社の企業活動に伴い適用される環境関連法規等は上記のとおりです。環境管理責任者 青木圭吾 が中心となり法規の遵守状況についてもチェックを行い。現在及び過去3年間問題ないことを確認しました。また同様に関連機関及び近隣の住民からの指摘、苦情、訴訟などは1件もございませんでした。

10. 代表者による見直し・指示

今年度は、設備投資の年となりました。従業員の従業員休憩場所と事務所の省エネエアコンを新設交換し、電力量の削減と共に、従業員の仕事の効率も向上し、また工場は新型ライトテスターや新型タイヤチェンジャーを導入し、生産性の向上と共に、安全性も向上することが出来ました。快適で安全な空間や設備で仕事をすることによって、結果残業の減少にもつながっていくと思います。

11. お問い合わせ



〒382 - 0054

長野県須坂市高梨町 2535

株式会社 酒井商会

TEL:026 - 245 - 0397

FAX:026 - 245 - 2931

Mail:aoki@sakai1910.co.jp

HP:<https://www.sakai1910.jp>